

# ゆっこら通信

社会福祉法人ゆっこら

〒301-0834

茨城県龍ケ崎市古城 3204

電話番号 0297-85-4301

<http://yukkora.jp/>



## ～呉秀三「精神病患者私宅監置の実況」刊行100周年に思う～

社会福祉法人ゆっこら 理事長 杉江 彰

1918年に呉秀三氏は、東京帝国大学精神医学教室総がかりで精神病患者私宅監置の実況を数年にわたり現地調査して、冊子にまとめて刊行しました。今年は刊行100年ということで記念映画も制作されました。

1900年に「精神病患者監護法」という法律が施行され、警察が先頭になって精神障害者を取り締まり、私宅に「監置」する指導を行いました。この報告書では、私宅監置がいわゆる「座敷牢」と言われる畳の上での扱い以外に、多くは、土間の一角、庭先の掘っ立て小屋、さらには村外れの小屋での「監置」で、トイレもなく、入浴もなし、食事も満足に与えられない非人道的な実況を告発しています。この冊子がきっかけで1920年に「精神病院法」ができ、国や県に精神病院設置

義務が課せられましたが、戦争へ向かう時代で病院建設は進まず、戦争で多くの精神障害者は「餓死」させられました。（ドイツでは毒ガスで「安楽死」させられました）

1950年に「精神衛生法」ができて精神病患者監護法は廃止されました。私宅監置は禁止されましたが、その後もなくならず、昨年、今年と大阪、兵庫で事件報道され驚きました。

呉秀三氏は「わが国の精神病患者は、この病を受けた不幸のみならず、この国に生まれた不幸を重ねている」と述べました。現代日本では国内総病床数が166万床なのに精神科病床数は33万床もあります。精神科病院の長期入院者の解決の歩みは途方もなく遅く、私たちに課せられたものはまだまだ重いと感じます。



## ～ゆっこら職員全体集会～

本部 吉田 満輝

『平成30年度 社会福祉法人ゆっこら職員全体集会』を4月2日に開催しました。

ゆっこらが設立されて13年が経過し、現在、龍ケ崎市つくばみらい市・つくば市に計9つの事業を展開しています。多くの方々のご協力のおかげで、地域に必要とされる法人に成長していると感じることができます。

今回の集会では初の試みとして、当法人に10年以上勤務している職員に対して永年勤続者表彰を行い、10名の職員が対象となりました。法人全体の職員数も53名（6月1日現在）となり、職員一人一人がゆっこらにとって欠かせない存在なのだと思います。

その後、各事業所より事業内容の説明や紹介が行われ、最後に杉江理事長より戦後の保健体育教科書における統合失調症（精神分裂病）の記述の変遷について講話があり、障害者を取りまく時代背景の変化を学ぶことができました。



## ～調理実習について～



ゆうあいワークインでは”調理実習”というプログラムが月に一回ほど行われています。内容は順に「ミーティング」→「買い物」→「調理」→(食べる)→「後片付け」です。「ミーティング」は基本的に全員参加で、それ以外は参加者個人がやりたいことを一つ以上選んで参加する仕組みです。

まず「ミーティング」です。その日に作るメインメニューはその場で候補を出し合って多数決で決定します。それから必要な買い出し食材を検討し、全員の役割分担を決めます。

「買い物」は数名で近所のスーパーに買い出しに行っています。その間に残ったメンバーでご飯を炊いたりお湯を沸かしたりという前準備を進めます。

買って来た食材を調理担当で「調理」します。得意な人は得意なりに腕を振るったり、初めての人は簡単な内容から始めてみたり、皆で楽しい時間を共有しています。

地域活動支援センター ゆうあいワークイン  
金谷 奈保恵

配膳が終わって参加者全員がそろったら挨拶をして美味しくいただきます！

食後、自分が使った食器は自分で洗って拭くことになっています。調理で使った器具などは「後片付け」担当者が分担して洗います。

このように、調理することだけではなくトータルでの自炊実習ができるようになっています。

最後に、この数年で作ったメニューを紹介します。お好み焼き・肉じゃが・カツ丼・チンジャオロース・鶏肉ホイル焼き・ミートソーススパゲティ・あんかけ焼きそば・ハヤシライス・クリームシチュー・ちらし寿司・牛丼・カレー・ラーメン・豆腐ハンバーグ・冷やし中華・茄子の肉巻き・豚丼・タコライスなど。

今月のメニューは、ナポリタンとサラダでした。



## ～「古城の家に来て約2ヵ月、慣れてきました」～

こんにちは。この4月から地域活動支援センターわかばからグループホーム古城の家に異動になりました、川島彩です。ゆっこの職員になって3年目になります。私は茨城で育ち、茨城で暮らしてきましたが、龍ヶ崎市のことは全くわからず、出勤がとても不安でした。古城の家にきて2ヵ月、同行支援などで街の中を車で走っているうちに徐々に古城周辺の道が分かるようになり業務にも慣れてきたところです。

私は古城に来て出来る事が増えました。大きな車の運転は失敗しそうで怖くてできませんでしたが、運転できるようになりました！苦手だけどやってみる。やってみたらできた！ひとつでも出来る事が増えていくと嬉しい気持ちになります。できなかったことがゆっくりでもできるように、メンバーさん一人一人にとってベストな選択を

グループホーム 古城の家 川島 彩

一緒に考えていける職員になりたいと思っています。

わかばで経験したことを活かして、古城の家でのお仕事、頑張ります！ゆっこのメンバーさん、職員さん、ゆっこの関係者のみなさま、今後ともよろしくお願ひします。

さて、近々古城の家の食事会があるそうです。古城のメンバーさんと楽しく美味しいものをたくさん食べることに、それが私の今の楽しみです！



## ～新しく変わりました！！～

グループホーム ボランペの家

高梨 洋子

こんにちは。ボランペの家の高梨です。4月よりマリーナの食事提供方法が新しく変わりました。3月までは世話人さんの愛情たっぷりの食事をお願いしていましたが、4月より「森のキッチン」で朝・夕食はもちろん土曜日・日曜日の昼食も作って頂いています。

朝・夕はお弁当のように準備していただき、栄養のバランスや盛り付けの彩りなどがとっても美味しそうなんですよ～。

マリーナミーティングにて皆さんから、週末は「麺類が食べたい！」とリクエストがあり、早々に願いが叶いました☆彡。



### 《ここでメンバーさんからの一言》

- ★一定量が食べられるようになって良かった。
- ★朝食にパンの日もあって嬉しい。
- ★とっても美味しい！
- ★栄養を考えてもらっている上に制限のある私は美味しく食べられて嬉しいです。

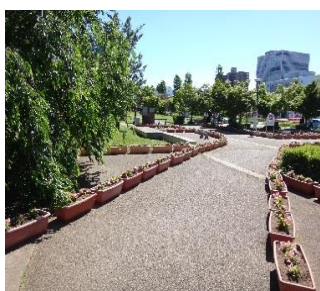
E・Rさん  
E・Tさん  
U・Mさん  
Y・Eさん

メンバーさんが夕食は何かな～？とお弁当のふたをこっそり開けて「わぁ・・・」とにこやかな表情が何とも言えません。これからも森のキッチンのスタッフの皆さん宜しく願います。次回は板橋、谷井田の世話人さんの食事を紹介したいと思います。おたのしみに・・・。

## ～ウエルカムフラワーCity つくば事業

「春のセンター地区花壇づくり」に「ベゴニア」の花苗を提供～

就労継続支援B型 フレッシュグリーン 松橋 和枝



この事業はつくば市の玄関口である「センター地区」に市民の皆さんの手によって花の苗を植えるイベントです。

5月19日、朝のうち降っていた雨が上がり、市長も参加したオープニングセレモニーののち約100人を超える市民の皆さんが、中央公園、TXつくば駅出入り口周辺、ペDESTリアンデッキなどの花壇やプランター約500か所にフレッシュグリーンで育てた「ベゴニア」約2000株を植栽しました。



オープニングセレモニーには園芸スタッフ（職員・利用者）も参加し、始まる前にフレッシュグリーンの寄せ植えやいろいろな花苗も育てていることを参加者の皆さんにアピールしました。

「ベゴニア」は3月下旬にポット上げして、5月のこの日に納めるまで、園芸スタッフで大切に育てました。ハウスの中にさらにミニハウスを作り、暖かい環境のもと、肥料や防虫剤を適宜施し、出荷前にはきれいに整えて、送り出しました。植栽されたフレッシュグリーンの「ベゴニア」は、つくばの玄関口で次々と花を咲かせながら訪れる人々の目を楽しませてくれています。





## ～障害者の私～

## 就労継続支援B型 花農場

### 1. Hさん

2006年10月4日、私は鉄格子のついた小窓を眺めていました。鉄格子の間隙から、真っ青な空に白い雲がぽっかり浮いていました。その青空と白い雲を見ていたら、なんだかとても悲しくなってきた、涙が流れました。「なんで？なんで私はこんな所に入れているの？私は何も悪い事なんかしていないのに。」「お父さん、お母さん、助けてよ！私を今すぐここから出して！」「どうして？どうして私をこんなところに入れたの？」涙があとから、あとから出てきて止まりませんでした。ひとしきり泣いた後、今度は『こんな所に入れている自分を、もう世の中は必要としていないんじゃないだろうか？それならば、いっそ死んでしまった方がいいんじゃないだろうか？』と考えるようになりました。ですが、涙を流しすぎて、喉がカラカラです。とりあえずお水を一杯もらいました。そしたら、「あれ？美味しい。お水ってこんなに美味しかったんだ。」こんなにお水が美味しくありがたいと思った事はありませんでした。そして、同時にこんなにお水が美味しく飲めるのだから、このお水が美味しく飲めなくなるまで、とにかく生きよう、生きなければならぬと感じました。

その瞬間から、私は病気を、病気をしっかり治そう。とにかく治そう。しっかり治そう。看護師さんの言う事をよく聞こう。先生の話をよく聞こう。早く治そう。早く治したい。そういう気持ちに変わっていきました。

それから、12年、私はすっかり良くなり、毎日、花農場に通っています。毎日、花に癒されて、心を潤し、幸せな毎日を送っています。ステキなスタッフさんや、花農場に通う心優しい友達に囲まれ、毎日とても幸せです。ですが、ふと見上げた青空と白い雲を見ると、辛かったあの頃の自分を思い出すこともあります。

だけれども、これからは、これから先の自分の人生のために日々の仕事に没頭し、日々邁進していく次第です。



Iさんの作品

事業所名	☎	所在地
本部	0297-85-4301	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204 古城の家2階
ゆうあいワークイン	0297-64-1335	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-10
花農場	0297-64-1393	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-11
古城の家	0297-85-4304	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204
ともだち村	0297-58-5201	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-1
ふれんず(本部)	(板橋マリーナへ)	〒300-2312 つくばみらい市神生530 きらくやま
ふれんず(板橋マリーナ)	0297-58-0466	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
ポランペの家	0297-57-0756	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
相談支援事業所マリーナ	0297-58-3670	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
わかば	029-836-8544	〒305-0861 つくば市台町1-2-2 谷田部老人福祉センター
フレッシュグリーン	029-875-3680	〒305-0861 つくば市谷田部4701-2